



OG/OB と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX



1. 『「ガンツ」の迫力』 / 加藤緑
百香亭筑波大学店の名物

2. 『Ran Ran 再現飯』 / 山田優芽
2回しか行ったことない比文生が作りました



一の矢八坂にんにく祭

3. 『筑波・思い出・食』 / 野澤遼太郎
近況を語る

無人1H棟



4. 『看板が語る筑波大～第2弾～』 / 天野隼太
「桐の葉」の疑問、調べました。

5. 『飲食店の立地及びその変遷に関する考察』 / 新田悠樹

松美池



1. 「ガンツ」の迫力

百香亭筑波大学店の名物



突然ですが、卒業生の皆様はこちらの料理を食べたことがありますか。百香亭筑波大学店で販売されている「ガンツ」こと「黒酢豚」です。こちらの物体にナイフを入れると……

前回の春号では、ペデジャーなる読者の皆様にアンケートを取らせていただきました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。回答の中には、こちらの料理が忘れられないという声が複数ありました。そんな声に応えるべく(?)、今回は意気投合している仲間4人と一緒に食べに行き、その食レポをしてまいりました。

時は8月7日の夜8時、日差しこそなかったものの、ジメジメとした空気に包まれながら中央図書館方面から出発しました。5人で雑談しながら南下し、気が付いたら目的地に到着しました。

2005年にオープンし、天久保三丁目に位置する「百香亭筑波大学店」。今年でオープン18年目ということで、筑波大学の開学50周年と比べると半分もないため、卒業生の半分



百香亭筑波大学店の外観

以上が知らないと思われます。客の約8割が筑波大生だといひます。実際、私も4回ほど利用しましたが、周りには筑波大生らしい方々がほとんどでした。大学から近く、大人数での利用が可能などのメリットがあるが故に、学生からは人気なのではないでしょうか。また、筑波大学にはたくさんの中国人留学生がいるため、彼・彼女らの姿も必ずと言っていいほど毎回見かけます。



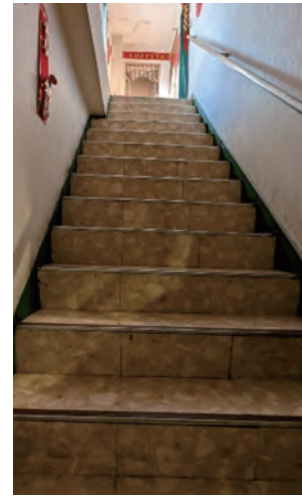
上：1階のテーブル席（今まさに「ガンツ」をさばいている人がいますね！）、下：2階の座敷

1階のカウンター席

1階にはテーブル席とカウンター席、2階はいくつか大部屋があり、全て座敷です。

中に入ると、夕食の時間帯でもあるため、1階はほぼ満席でした。そのため、何回のぼっでもその険しさに驚いてしまう階段で案内された2階にたどり着きました。階段側から数えて2個目の部屋に入り、手前の席に座りました。

テーブルにはA4サイズのラミネートされた紙が貼ってあり、二次元コードが二つ付いています。スマートフォンで二次元コードを読み取ると、注文ページが出てくるので、そこから注文します。



険しい階段
(写真だと分かりにくいかもしれませんが……)



スマートフォンの注文画面

さて、肝心の黒酢豚ですが、私たちが注文したのは、「一品料理『肉類』」という区分に入っていたものです。料理名の後に「大人気」に加え赤い「！」がついている他、その下には「百香亭一番人気料理」と書いてありました。普通とは異なり、「異質」ともいえる酢豚、さすがだなと思いました。

料理名の後に「大人気」に加え赤い「！」がついている他、その下には「百香亭一番人気料理」と書いてありました。普通とは異なり、「異質」ともいえる酢豚、さすがだなと思いました。

ところで、アンケートの回答によると、この料理は「ガンツ」と呼ばれていたらしいです。その理由は、「GANTZ」(ガンツ)という名前のマンガに出てくる黒い玉(?)と似ているためだといいます。しかし私の周りにはその呼び方をする人はおらず、私自身も知らなかったので、「ガンツ」とは何ぞやと思いながらインターネットで調べてみました。出てきた画像を見ると、「あ！なるほど」と納得しましたね。黒酢豚はまさに「ガンツ」と呼ばれるべき料理だと思いました。

注文してからそれほど時間が経たないうちに料理が運ばれてきました。黒酢豚を食べるのは初めてではありませんが、何回見てもこの料理は衝撃的です。黒酢豚は大きな皿に三つ入っていて、一つがソフトボールくらいの大きさです。私の隣に座っていた同期が付属されていた通常のものより一回り大きいフォークとナイフで黒酢豚を一つずつ切り、食べやす



マンガ「GANTZ」(ヤングジャンプより引用)

くするために細かくしてくれました。そして私はその横でパシャパシャとひたすらその「工程」をスマホで写真に収めていました。真っ黒でまん丸い「ガンツ」にナイフが入る

と一気に崩れて、中の茶色い肉が見えてきます。一瞬にして「ガンツ」の原型がなくなり、はかない一生だな……と思いながら見つめていました。全ての黒酢豚を細かく崩した後、



ファーストカットから三つとも崩れるまで

付属されている平べったいお玉を使って取り皿に配膳しました。

黒酢豚の中は軟らかいが、外はちょっと硬めになっています。黒いソースは甘く、酸っぱさも少し感じますが、甘酸っぱいとはまた異なった味でした。病みつきになりそうな味で、次から次へと口に入れたくなってしまいます。三つの「ガンツ」の分量は5人でちょうどよく、良い感じに分配できて食べきれました。

お店の方に黒酢豚について聞いてみたところ、調理法などを教えてくれました。まず、チャーシュー肉を3時間以上煮込んだ後、団子状にします。そして卵とデンプンを混ぜ、それを団子の外側に付けて油を通して調理します。そうすることにより、「ガンツ」の中も含め、満遍なく味が付いてかつジューシーで、外側は硬い食感にすることができます。料理には黒酢豚以外に、山芋、里芋と玉ねぎが入っています。また、装飾用のパセリも料理の上部にちょこんと乗っかっています。

というわけで、今回は「ガンツ」について執筆しました。アンケートにご回答いただいた卒業生曰く、「ガンツ」は友達と一緒にだからこそ食べられる一品。一人で食べようとしてもかなりのフードファイトになってしまうと言います。思い返すと、確かにあれは友達と一緒に崩しながら楽しく食べるのが一番の食べ方なのだと実感しています。

* 黒酢豚の写真は全て食事をした8月7日に撮影しました。店舗の写真は翌8月8日の午後に撮影しました。

(生命環境学群 生物学類2年 加藤緑)

2. Ran Ran 再現飯

2回しか行ったことない比文生が作りました



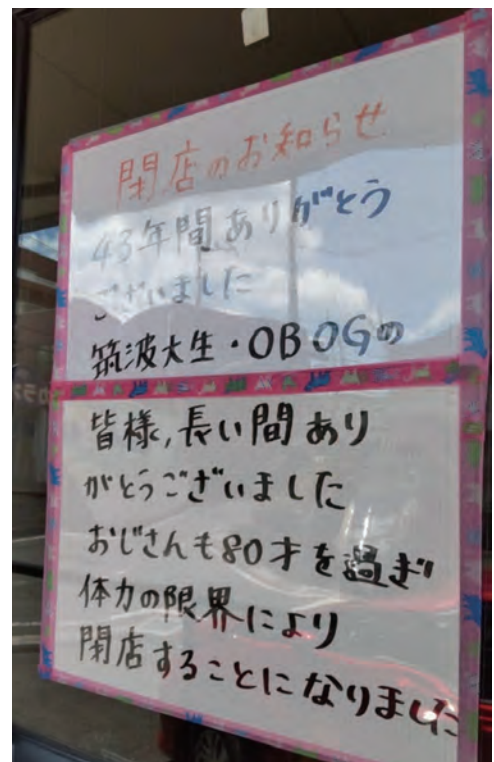
こちらは、体専御用達！大盛りで有名な春日4丁目のお店「RanRan」BIG 丼の写真です。どちらが本物か分かりますか？……「どう見ても右が本物だろ！」そう思ったそのあなた、流石です。左は RanRan の BIG 丼ではありません。RanRan に 2 回しか行ったことのない私とその友人が作った再現飯です。ハイ、ごめんなさい。

私達が、再現飯を作るに至ったのには理由があるのです。ちょいと聞いてくださいな。

「閉店のお知らせ 43 年間ありがとうございました」。6 月に閉店した RanRan 店頭に掲げられたこの張り紙に、一体何人の筑波大生（元含む）が愕然としたことでしょうか。前回ペデジャーなるの読者様に「思い出の食」に関するアンケートを行った時にも RanRan を挙げていた方がいらっしゃいました。奥で料理をするおじいさんの背中と、明るい接客のおばあさんのニコニコ笑顔がとても印象的なお店ですよ！

これはペデジャーなるの編集委員として、取材しないわけにはいかない！お店の方の思いを！筑波大生及び卒業生への思いを！聞いて記事にするぞ！と意気込みました。

し・か・し、結論から言うと、取材はできません



でした。これにはカクカクシカジカありまして。冒頭の再現飯が気になっているところだと思いますが、もう少しお付き合いください。

それは夏の暑い日でした。RanRan への取材を決めた私は、まずアポ取りにかかります。…が、公式の電話番号が出てこない（だいぶ古いサイトにあったのを見つけたのですがちょっと気が引けた）！ 次にお店に行ってみることにしました。…が、インターフォン等がない！ うーん、どうしましょう。呆然としていたところ、扉からお店の女性がひょこっと出てきたわけです。いつもニコニコと接客をしてくださっていた方です。お忙しい中だったようですが、少しだけならと話を聞いてくださりました（優しい）。

「おじいさん（料理を担当していた方）は、80 過ぎ。毎日毎日大変でね、もう閉めることになったの」「この大きな RanRan の看板も下げて、普通のお家になるの」。そう語る表情には、切なさよりも達成感があるように感じ取れました。ただ、8 月中はお忙しく、他にもアポがあるご様子で、少なくとも当面の取材は難しいとのこと。連絡先だけお伝えしました。

お店の方の言葉を聞いて、もうあの BIG 井は食べられないのか。ということをしししと実感しました。私はお持ち帰り注文をしていたのですが、タッパーを持参した際には全然入り切らなくて、友人宅に駆け込んでタッパーをかき集めたことを思い出します（ミニ井 2 人分味噌汁込みでタッパー 8 個分くらいになりました）。あゝ、せめて、もう一度食べたいなあ。記事もどうしようかなあ。

ん？それなら、自分で作ってみればいいじゃない！

そんなこんなで再現飯を作ることが決定したのです。

まずは情報集めから。仲の良い友人らに RanRan の記憶を尋ねました。体専の友人がいないので、頼みの綱は、SNS で「RanRan」に関するコメントが多いように見受けられた友人 I(比文)。「どれくらい行ったことある？」と尋ねたところ「うーん、2 回くらいかな」とのこと。お前もかよ！（冒頭に掲載した RanRan の BIG 井の写真を提供してもらったので友人 I には感謝しています）

お次は私の心の悩みをいつも解決してくれる友人 Y (比文)。RanRan には 3 回行ったという彼女によると「RanRan の前に、李錦記のオイスターソースの瓶がたくさん捨てられているのを見たことがある」との有力な情報をいただきました。

李錦記のオイスターソースを始め、あらゆるサイトの RanRan 写真をチェックし、必要材料を揃えました。買い出しは激安スーパーライアルで。普段ちゃんとした料理をしない私の家の冷蔵庫は、基礎調味料もままならず。

いろいろと買い足した結果、お値段 3 3 6 6 円！ウォン(私の泣き声)

RanRan の BIG 井の具材は「ご飯」「麻婆豆腐」「ふわふわスクランブルエッグ」「焼き豚肉」

「唐揚げ」「野菜炒め」「もやしナムル」と確認できましたので、友人 Y とこれらを作って
いくことにしました。

説明するのも疲れたので、以下、とりあえず写真をご覧ください。



具材集合

こだわりポイントを絞って三つ申し上げますと、①ふわふわな卵②李錦記③クックドゥ等や冷凍食品を使っていないことです。まず①ですが、RanRan のあのふわふわスクランブルエッグが素晴らしいということで、こちらも本気を出して、バターやらコーヒーフレッシュやらとろけるチーズやらを入れてふわふわ感を再現してみました。次に②、やっぱり李錦記。調味料の味って割と大きいですよ。友人 Y の言葉を信じ、いろんなところに李錦記オイスターソースをまきました。最後に③ですが、唐揚げも麻婆豆腐もしっかり一から作りました（これは大変だった…）。

お料理にかかった総時間は、5 時間半（笑）。だって、激狭キッチンで IH 一つだったんだもん。ただ、唐揚げを作るのを最後にしてしまった結果、生肉を調味料につけ置きしている 1 時間に何もすることがなくなってしまったという工程ミスも原因です。

さーてさてさて、いただきます！ということで、バイト帰りかつ RanRan に 2 回しか行ったことのない友人 S（比文）も巻き添えに、実食会を開催しました。就活帰りの友人 I にも渡しました。「結構似ているかも？」「豚の焼き肉の味を李錦記一本にしたのは違うね」「本家のスクランブルエッグはもう少し黄色かった。いろいろ入れすぎたね」「全体的にもう少し濃かった気がする」などの意見が出ました。

まだまだ研究が必要です。どうやったら、あの味に近づけるのだろう。2 回しか行かなかったことが大変悔やまれます。もう一回あの味が食べたい（泣）。今つくばで食べているあの味も、いつか思い出だけのものになってしまうのかもしれない。改めて 43 年もの間筑波大生に美味しい BIG 丼を提供し続けてきたお二人の偉大さを知ることになりました。

挑戦は、続く。

（人文・文化学郡 比較文化学類 4 年 山田優芽）

3. 筑波・思い出・食

近況を語る



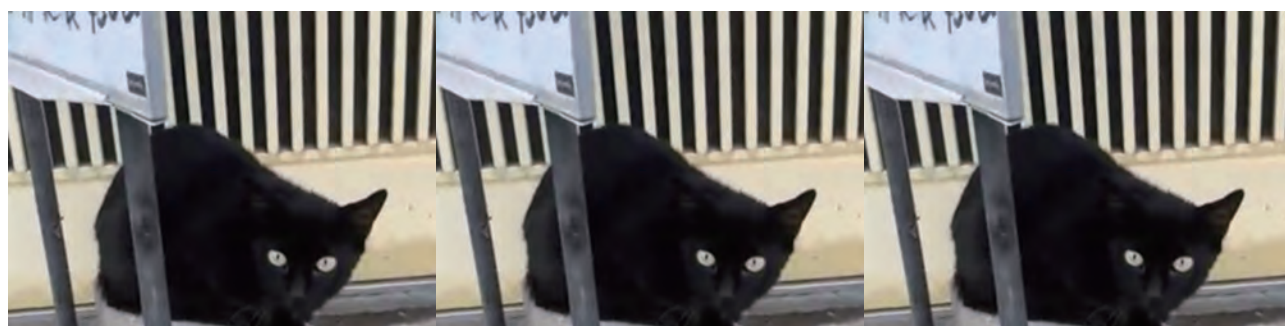
一切語ることを拒否して

つくばの近況 その1



以前つくば市篠崎には「お食事処田舎」というお店が存在しました。500円でラーメン定食（ラーメン+日替わり定食）が出てくる有難いお店で、穏やかなご夫婦が営んでおられました。お客さんは近所から仕事の休憩時間にいらしたであろう方が多く、大抵常連さんで見受けられました。昨今では珍しく大量の灰皿が置いてあり、常連らしい方が食後に煙草を吸うのを横目で眺めたものでした。かのご夫婦のお子さんであろう方も手伝っていらして、ある時期にはその更なるお子さん（つまりご夫婦のお孫様）が生まれ、店ではさながらアイドルの様でした。食事を済ませて外に出ると、4、5匹の猫が寝ていますが、写真を撮るべくして近づくと即座に逃げられます。撫でることは遂に叶いませんでした。

流行り病によって自宅で授業を受けるようになると、学食にも行かなくなります。あの時期、「お食事処田舎」のような食堂にお世話になった若者は決して少なくないでしょう。しかし最近では校舎での授業が増え、学食利用への機運が再来しています。当然「お食事処田舎」へ向かう足跡も少なくなっていました。ごく最近、気まぐれ的に思い出して行ってみたのですが、お店は開いていませんでした。ハテと思い Google Map で調べると、つくば市篠崎に確かに存在した「お食事処田舎」のピンマークは無くなっていました。どうやら知らぬ間に閉店されていた様です。しかしもう少し調べると、土浦市永井に引っ越されていたことを知りました。



*

一切語ることを拒否してフィーリングの世界へと逃避しよう

つくばの近況 その2

筑波大学 CEGLOC メディアライブラリー

映画ソフトが沢山配架されています。最近『ゲアトルーズ』のDVDが入ったらしく、嬉しい気分になりました。『ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル 1080、コメルス河畔通り 23 番地』と『赤ちゃん教育』も入ったそうです。今話題のジョン・カサヴェテスも一本あり、ジーナ・ローランズの踊りには落涙しました。

キッチンカーとすれ違った時

聴こえてきた音楽曰く、
“この世界に～吐き気が～するんだ～”（うろ覚え）

ある映画を観た翌日

中央図書館の蔵書整理アルバイトに入ったら、目の前の書架に《le petit livre rouge》が平積みにしてあったのは真っ赤な奇遇でした。しかし、そこでジャン＝リュック・ゴダール監督に「勘弁して」と言いたくなくても、愚かな被害妄想に違いありません。それに後日確認したら、語録ではなく選集でした。

※《La Chinoise》

昨日は今日に

おそらく明日は今日に似て
祝婚の折返句さながらに
この日また虚無の賑やかさ
（『詩集：花火』，多田智満子，書肆ユリイカ）

気鋭の喫茶書店あらわる

店名が「サッフォー」と、アルカイックで素敵です。店主さんがあの方ともあの方とも……お仕事をされていると聞き目を丸くしました。アニエス・ヴァルダ監督やシャンタル・アケルマン監督、桂二葉師などの話ができる、何とも楽しい場所であります。

しばしのお別れ

秋入学があるのだから、秋卒業も又あります。名残惜しいですが、友達の門出を心から祝いたいものです。元気な姿でまたお会いしましょう。

*

一切語ることを拒否してフィーリングの世界へと逃避しようとしても、
そのように思考すること自体が

つくばの近況 その3



*

一切語ることを拒否してフィーリングの世界へと逃避しようとしても、
そのように思考すること自体がすでにコトバに依っていることに
慄然として気づかねばならないのだ。

(『ソシュールの思想』, 丸山圭三郎, 岩波書店)



付録 お店情報

・お食事処田舎 〒300-4101 茨城県土浦市永井1 3 2 2 - 2

・本と喫茶 サッフオー 〒305-0005 茨城県つくば市天久保1丁目15番地11 アイアイビル104号室

(理工学群 工学システム学類4年 野澤遼太郎)

4. 看板が語る筑波大～第2弾～

「桐の葉」の疑問、調べました。



■少し長めの「まくら」です。

モクモクとした積乱雲、途切れることのないセミの声、道路上で揺れるかげろう……。いよいよつくばにも夏がやって来ました！ちょっと動いただけで汗をかいてしまいます。できればエアコンの効いた部屋でのんびりしたいものですが、なかなかそうは言ってられません。外出の際は、じりじりとした暑い地獄の中を、自転車を漕いで進んでいきます。

ある時、汗だらだらで目的地に着くと、後輩が涼しい顔で挨拶してきました。「全然汗かいてないじゃん！結構早めに来てたの？」と私。その瞬間、彼は夏の太陽のごとき明るい顔で、「いえ！車で来ました」と言い放ったのです。強烈なアッパー。車を持たない私は、ただただ「…そっかぁ！いいね」と弱々しくつぶやくことしかできませんでした。車ほし〜い！まあ、ペーパードライバーの私にとって、車があっても怖くて乗れないんですけどね……。トホホ。

そんなことはさておき、つい先日いつものごとく汗だらだらで自転車を走らせていると、つくばセンター周辺に制服を着た高校生とその親らしき集団を見つけました。「あ、今日、オープンキャンパス（以下オーキャン）かぁ」と気づいたら声に出していました（傍から見たら変なヤツですね）。思えば、私が初めてつくばの地に足を踏み入れたのも、高校2年生のオーキャンでした。初めて見たつくばは「緑」「緑」「緑」。「研究学園都市」という名の近未来的イメージは、早くもここで瓦解したのでございました（今では緑いっぱいにつくばを気に入ってます）。

当時、筑波大に是が非でも合格してやるんだという熱い思いを持っていた天野少年。オーキャンでもらった資料を机に飾り、筑波大のスローガンである「IMAGINE THE FUTURE.」が印刷されたシャープペンを愛用していました。更に、スマホの待ち受けを筑波大の校章である「桐の葉」にするほどの気合の入れ様。ロック画面を開くと、ホーム画面に「ドーン」と出てくるわけですよ。「桐の葉」を見ると、筑波大への思いが強まり、より一層身が引き締まったものです。私にとって高校生の時からお世話になっている校章「桐の葉」。前置きが長くなりましたが、今回はこちらがテーマです（「食」について書いている方が多い中で、自分だけ空気読めてませんでした……。「みなさん、『食』についてはもうお腹いっぱいだと思うので、テーマを変えてみました！」ってことにさせてください）。

■形の違う「桐の葉」！？

あれは大学2年生の冬あたりだったでしょうか。何かの用事で一の矢学生宿舎方面に自転車を走らせていた時のことです。ループ道路を北上し、メタセコイア並木に突入する一歩手前で信号が赤になりました。信号が青に変わるまで特段することがなく、ぼーっとし



ていると、ふと、筑波大の校章である「桐の葉」が印刷された看板を見つけました。「お！桐の葉じゃん」。詳しく見てみると、そこには「関係者以外入構禁止」と書かれていました。

みなさんもご存知のように、筑波大は縦に長い大学ですよ。だから、ちよくちよく一般道がキャンパスを横断している箇所があります。看板は、「これより先は筑波大学ですよ！」と通行者に教えてくれる役割があるわけですね。「開かれた大学」だからこそ、外との仕切りがない筑波大。そんな時にこの看板がとても大切なのだと私は思います。

話を戻します。信号が青になりました。道路を渡ると、反対側にも看板がありました。ですが、何か様子が違います。まず色が違います。先程見た看板は、「つくば紫」色でしたが、この看板は青い色をしています。更に詳しく見てみると重大な違いに気づきました。それは「桐の葉」の形です。私にとってなじみのある「桐の葉」はもっと丸っとしているものですが、この看板のものは少し細長くトゲツとした印象です。以下に「桐の葉」の部分をドアップしたものをお見せしますね。



「つくば紫」色の看板の「桐の葉」



青い色の看板の「桐の葉」

「なんか違うね？」この疑問をもとに詳しく調べてみました。そうすると、私にとって面白い発見が見えてきました。

■そもそもなんで「桐の葉」が校章なの？

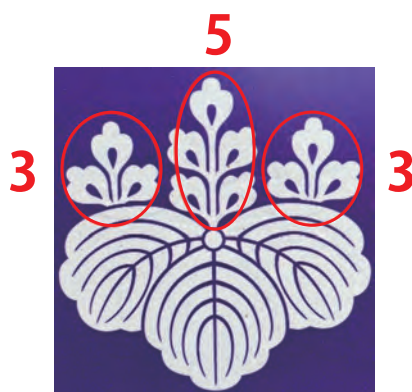
筑波大学の校章である「桐の葉」。そもそもなぜ「桐の葉」なのでしょう。日本政府（首相・内閣）の紋章も桐ですし、豊臣秀吉の家紋にも桐が使われていますよね。いったい、「桐の葉」にはどのような意味が込められているのでしょうか。

「桐の葉」の話をするためには、遥か昔の中国まで遡る必要があります。古来中国では、聖天子（徳のある優れた王）が即位すると、瑞兆（めでたい印）である鳳凰が現れると伝えられており、その鳳凰が宿る木として神聖視されていたのが桐だったそうです¹。

¹ 広島大学高等教育開発センター（2009）「一第4話 『桐と鳳凰』一」
<<https://onl.bz/rcjFMFW>>（2023年8月8日最終閲覧）

その後、こうした考えが日本にも広まり、平安時代になると桐の紋章である桐花紋が菊紋に次ぐ格式ある紋とされるようになりました。中世以降は、武力で天下を統一した為政者たちが、「庇護者としての忠誠」を天皇や朝廷に示した際、「褒美」として「権威と格式の象徴」である桐紋が下賜されたそうです²。豊臣秀吉はまさにこの事例ですかね。明治時代以降になると、日本政府の紋章として使用されるようになります。

では筑波大の校章「桐の葉」はいつ制定されたのでしょうか。「筑波大学」で「桐の葉」が校章として了承されたのは、開学後間もない1974年です³。ですが、「桐の葉」と筑波大との関係は、そのルーツである東京高等師範学校時代まで遡ります。校章が「五三ノ桐葉型」、すなわち「桐の葉」になったのは明治36（1903）年。経緯としては諸説があるようですが、一般には「教育尊重の意味にして宮内省より特別に許可、ただし宮中の五七の葉を避けて、五三の桐とすることとした」と伝えられています⁴。ここでいう「五七」と「五三」とは、桐の花の数を指します。政府が紋章で用いている桐の花の数は5-7-5になっています。一方で筑波大の校章で用いているものは3-5-3になっています。だから筑波大の校章は「五三ノ桐葉型」というわけですね。



少し脱線しました。ここまでをまとめますと、①「桐の葉」は天皇家の紋章の一つであり、中世以降には「権威と格式の象徴」として為政者たちに下賜されていたということ、②明治時代以降に日本政府の紋章として使用されるようになったこと、③筑波大と「桐の葉」との関係は東京高等師範学校時代にまで遡り、「教育尊重の意味として宮内省より特別に許可」されたものであったことなど、大きく三つのことが分かりました。

筑波大は今年で創基151年、そして開学50周年を迎えます。「桐の葉」は東京高等師範学校時代から現在の筑波大にいたる変遷の中で、共に歩み続けていると言えるのではないのでしょうか。

2 広島大学高等教育開発センター（2009）「一第4話 『桐と鳳凰』一」
<<https://onl.bz/rcjFMFW>>（2023年8月8日最終閲覧）

3 筑波大学「大学案内 校章」
<<https://www.tsukuba.ac.jp/about/outline-logomark/>>（2023年8月8日最終閲覧）

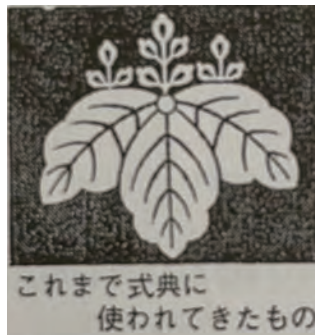
4 筑波大学応援部 WINS「校章『桐の葉』と宣揚歌『桐の葉』」
<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~wins/gallery/kirinoha_his.html>（2023年8月8日最終閲覧）

■長らく統一されていなかった「桐の葉」

ふむふむなるほど。そんな歴史があったのですね。では、私が見た青い看板の「桐の葉」と「つくば紫」色の看板の「桐の葉」はどうして形に違いがあったのでしょうか。調べていくうちに、面白い記事を見つけました。それは筑波大学新聞第 192 号（1998 年 10 月 12 日発行）の 1 面に掲載されていました。見出しは「校章の『桐の葉』 デザイン統一へ」⁵

記事内容をまとめると、それまで「公式デザイン」がなく「微妙なバリエーションのあった校章」が、「(筑波大学) 開学 25 周年を機に統一された」といった感じです。統一されて新しく誕生したものが、私が知っている現在の「桐の葉」だったわけですね。25 年間統一されていなかったってとても面白くないですか！？ちなみに、現在の「桐の葉」は、昭和初期の東京文理科大学時代の型をベースに、芸術系の三田村峻右教授（当時）がワーキンググループ代表を務める「筑波大学 CI 計画」が作成したそうです。

では、青看板の「桐の葉」は何だったのでしょうか。大学新聞に掲載された写真には、「微妙なバリエーション」のある校章の写真が 2 枚掲載されており、おそらく、その中の一つである「これまで式典に使われてきたもの」ではないかと考えられます。この「桐の葉」は、確認できるもので、1996 年版の筑波大ウェブサイトに掲載されていました⁶。以下に、新聞に掲載されていたものと青い看板の「桐の葉」を並べてみます。



「つくば紫」色の看板の「桐の葉」⁷



青い色の看板の「桐の葉」

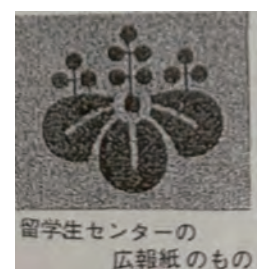
5 福原直樹、伊藤純郎編『筑波大学新聞で読む筑波大学の 40 年』（筑波大学出版会、2013 年）p.132
COOKIE WEB（木村浩研究室筑波大学芸術学系）「1996 年版筑波大学広報ホームページ」

6 <https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~cookie/design_works/utweb/utweb1996_01.html> (2023 年 8 月 25 日最終閲覧)

7 福原直樹、伊藤純郎編『筑波大学新聞で読む筑波大学の 40 年』（筑波大学出版会、2013 年）p.132

どうですか。とても似てますよね。式典という正式な場で使われたデザインが、対外的に校章を示す看板にも使われていたと考えることは不自然ではない気がします。

ちなみに、新聞に掲載されていたもう一つの「微妙なバリエーション」のある校章も見てください。これは「留学生センターの広報紙のもの」だそうです。非常に簡略化された「桐の葉」ですね。全体的



微妙なバリエーションの「桐の葉」⁸

に丸っとしていて可愛らしく、個人的にはとてもお気に入りです。

まとめると、①開学から25年を迎えるまで校章は統一されておらず、複数のバリエーションがあったということ、②そのバリエーションの一つに青い看板の「桐の葉」があり、それらが、25周年を機に「つくば紫」色の看板の「桐の葉」に統一された、ということ分かりました。よって、青い看板の「桐の葉」の方が、「つくば紫」色のそれより古くから建てられていたと言えるのではないのでしょうか。

■侮るべからず看板！

今回の調査をする前、単純に、時代の流れの中で、青い看板の「桐の葉」から「つくば紫」色の看板の「桐の葉」へと、デザインがリニューアルしたのだと考えていました。しかし、一筋縄ではいかない話でしたね。青い看板のものを含めた「微妙にバリエーション」のある「桐の葉」たちが開学25年間は群雄割拠し、その後それらが統一されて「つくば紫」色の看板の「桐の葉」が誕生したわけです。なんか、どこかの国の王朝の変遷を見ているようで面白いです。ちなみに、この青い看板ですが、筑波大に少なくとも7カ所あります(筆者調べ)。もし筑波大にいらっしゃるタイミングがございましたら、ぜひ探してみてください。

というわけでみなさん、今回は「看板が語る筑波大学」第2弾をお読みいただきましたがいかがだったでしょうか。普段通り過ぎてしまう看板ですが、掘り下げてみると筑波大の歴史が見えてくるかもしれません。侮るべからず看板！

第1弾では「ナンバー学群」の看板について書きました。記事の配信後、とてもお世話になっている先生から「ナンバー学群時代に学生だった自分にとっては当たり前だったけど、今の学生にとってはあーいうふうに映るんだね。興味深く読ませてもらいましたよ」とうれしいコメントをいただきました。今回の「桐の葉」もそうですが、世代によって看板に対する見方が変わってくるかもしれません。この記事を読んでいただき、若い世代には「そんなことがあったんだ!」、もう少し上の世代には「そんなこともあったな〜」と思っただけ、話のネタにしてもらえればうれしいです。最後にはなりますが、暑さはまだまだ続きそうです。熱中症などには十分お気をつけてお過ごしください。それでは。

8 福原直樹、伊藤純郎編『筑波大学新聞で読む筑波大学の40年』(筑波大学出版会、2013年) p.132

■参考文献・サイト

福原直樹、伊藤純郎編『筑波大学新聞で読む筑波大学の40年』(筑波大学出版会、2013年)
筑波大学「大学案内 校章」

<<https://www.tsukuba.ac.jp/about/outline-logomark/>>(2023年8月8日最終閲覧)

筑波大学応援部 WINS「校章『桐の葉』と宣揚歌『桐の葉』」

<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~wins/gallery/kirinoha_his.html> (2023年8月8日最終閲覧)

広島大学高等教育開発センター (2009) 「一第4話 『桐と鳳凰』一」

<<https://onl.bz/rcjFMFW>> (2023年8月8日最終閲覧)

COOKIE WEB (木村浩研究室筑波大学芸術学系) 「1996年版筑波大学広報ホームページ」

<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~cookie/design_works/utweb/utweb1996_01.html

> (2023年8月25日最終閲覧)

(人文・文化学群 比較文化学類4年 天野隼太)

5. 飲食店の立地及びその変遷に関する考察

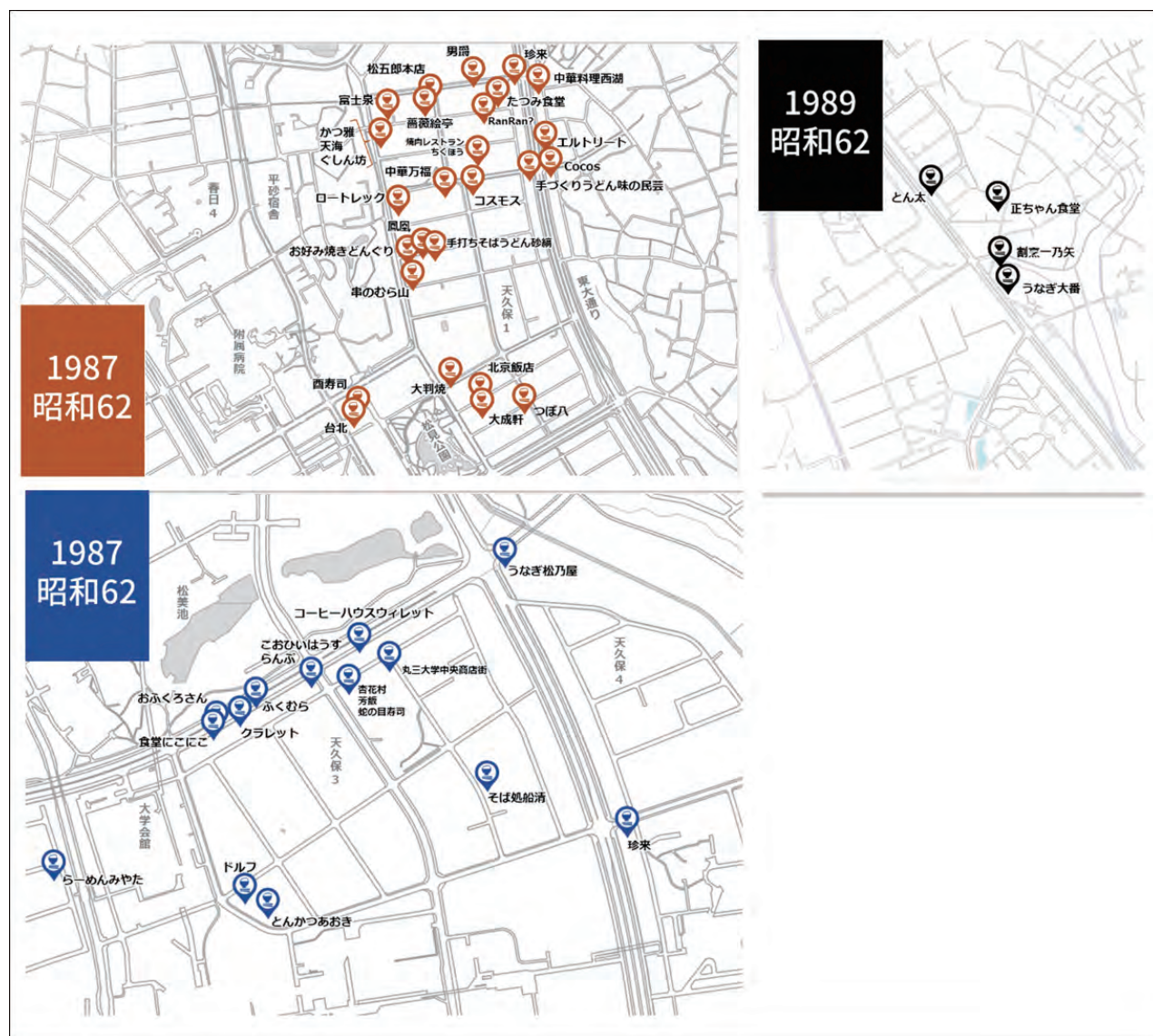
展望台から見る研究学園都市の街並み



本記事は、大学周辺の飲食店の立地を年代別に悉皆調査しようとし、その試みが大失敗したことをご報告するものです。悉皆、ならぬ「失敗調査」です。つくばの飲食店、多すぎる！残念ながら、全部は把握しきれませんでした。調べた年代は1987(昭和62)年、1997(平成9)年、2010(平成22)年、2023(令和5)年です。記載漏れや誤りも多いかとは思いますが、できる限り頑張りました。地図を眺めながら、当時に思いを馳せてみてください。

※地図は2023年のものを使用しています。当時の道路状況とは異なる部分があります。

<1987(昭和62)年>



あの頃の流行り / 出来事：

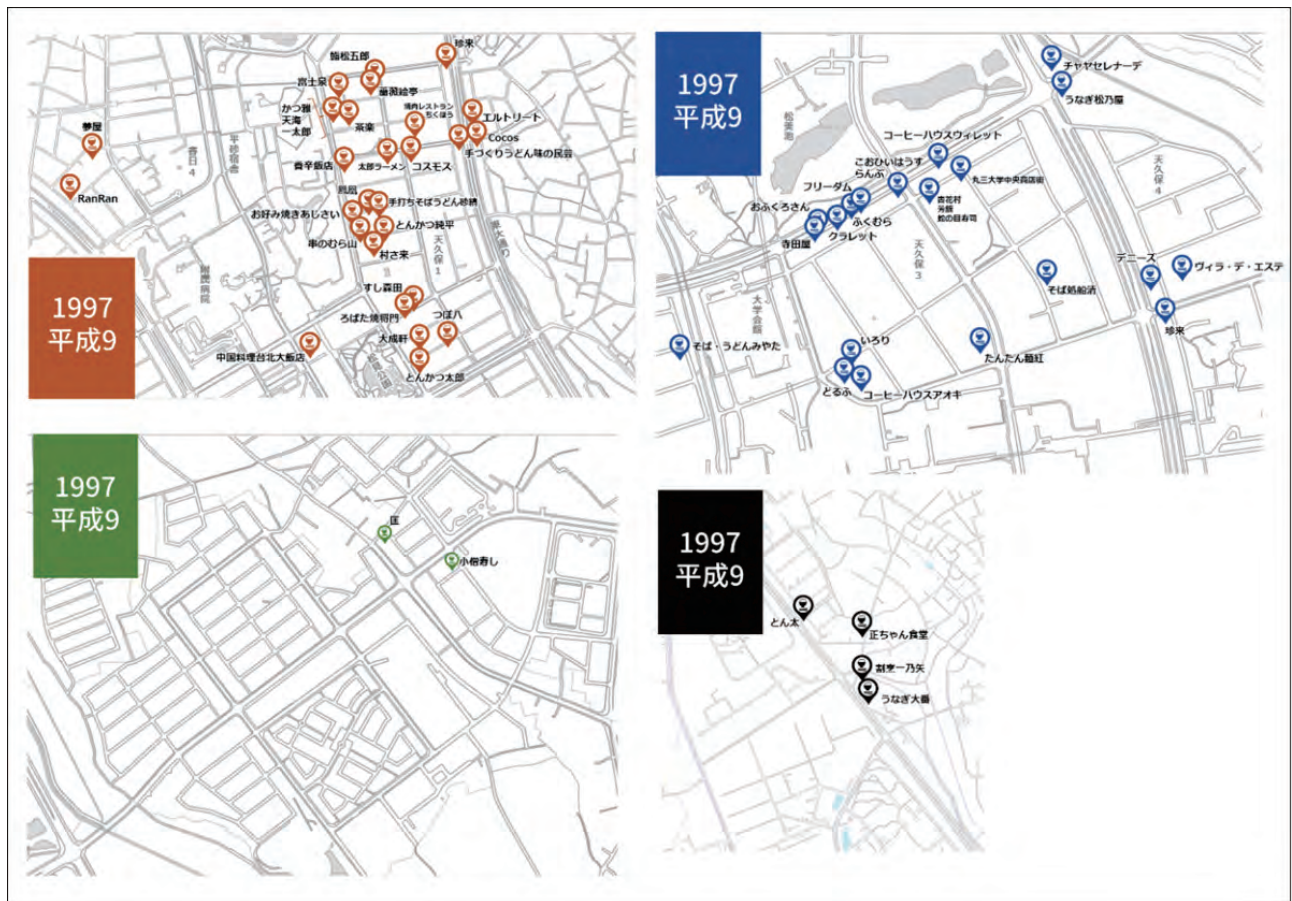
サラダ記念日・JR グループ・つくば市市制施行・命くれない・朝シャン・花キン

1987(昭和 62) 年は、つくば市が成立した年です。当時学生だった皆様は、いかがお過ごしだったことでしょうか。

地図をみると、アンケートでも多くの思い出エピソードをお寄せいただいた「とん太」・「正ちゃん食堂」・「RanRan」などなど、今はもう閉店してしまった懐かしのお店を確認できます。しかし、「クラレット (2023 年 8 月現在は休業中)」・「エルトリート」・「大成軒」・「薔薇絵亭」・「こおひいはうすらんぷ」・「ドルフ」などなど、今も営業しているお店も目立ちます。

これらのお店は、創業から既に 30 年以上が経過していることになります。移り変わりが激しいとされる飲食業界のなかでは、相当な老舗といえるでしょう。

<1997(平成 9) 年>



あの頃の流行り / 出来事

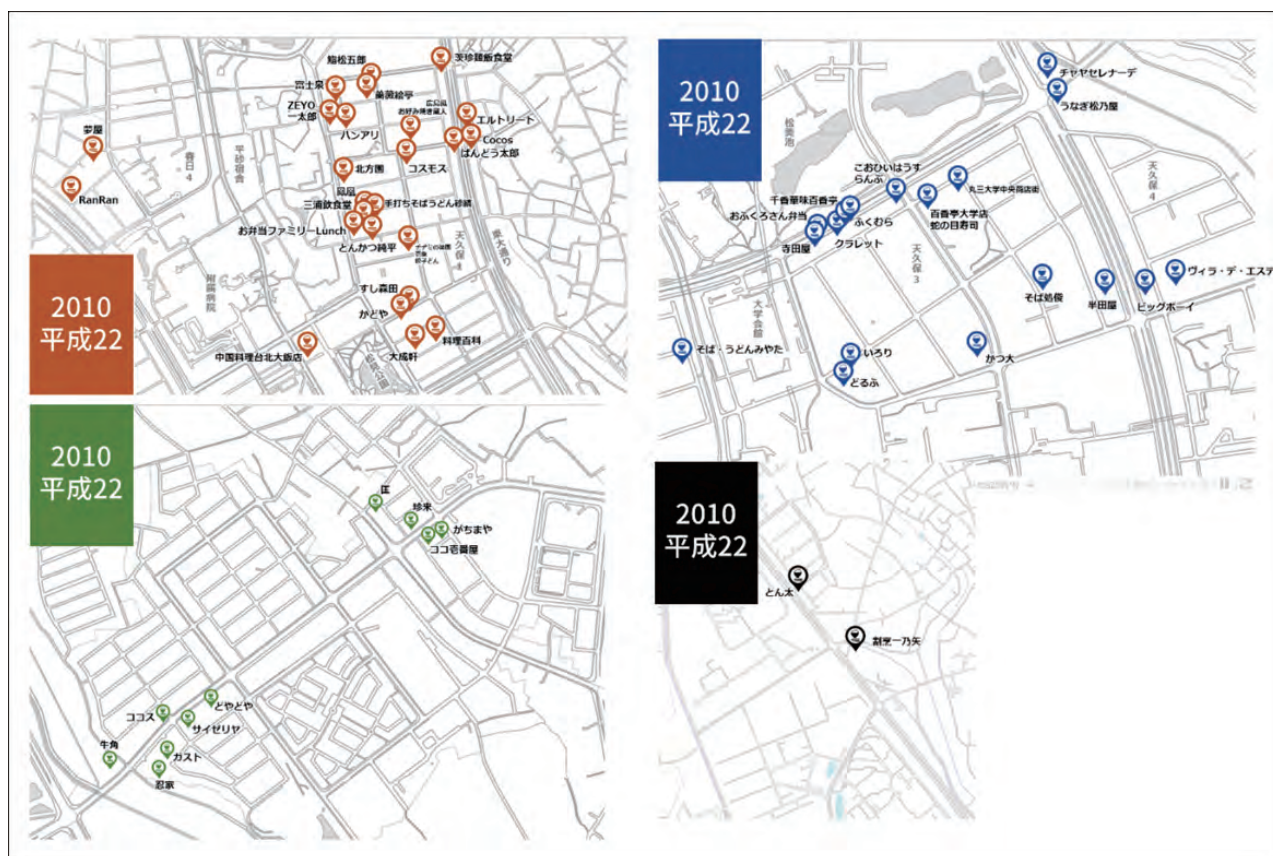
「失樂園」・社員は悪くありませんから・CAN YOU CELEBRATE? ・消費税 5% ・もののけ姫・たまごっち

「バブル崩壊」や就職協定の廃止など、当時の筑波大学新聞からは就活の厳しさがひしひしと伝わってきます。また、この年の前年(1996年)には筑波大学のホームページが開設されるなど、インターネットの利用が本格化した年でもあったようです。当時学生だっ

た皆様は、いかがお過ごしだったことでしょうか。

地図をみると、「夢屋」など今の学生にも親しまれているお店を確認することができます。また、アンケートでお寄せいただいた「とんかつ太郎」・「かつ雅」などのお店も確認できますが、今は閉店してしまったお店も多いようです。

<2010年>



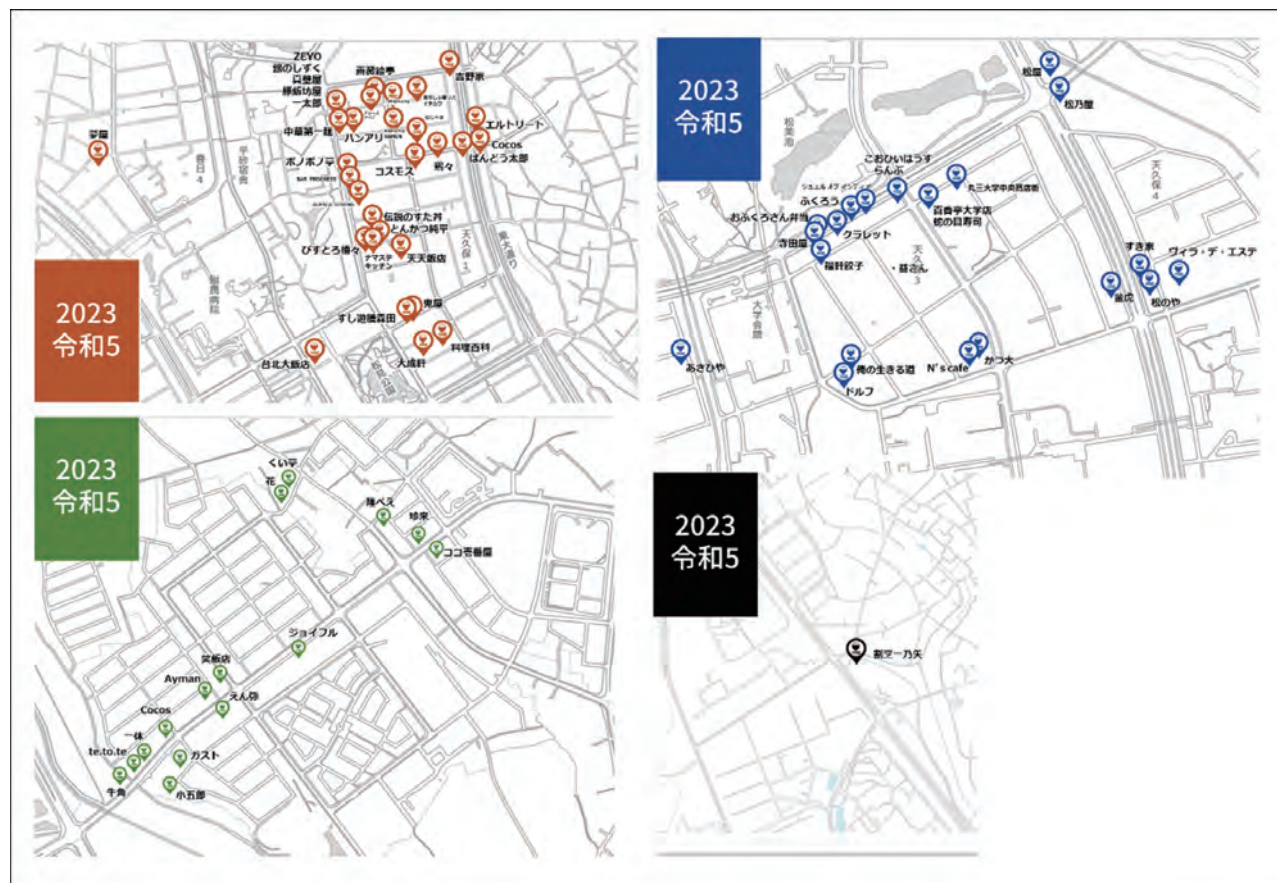
あの頃の流行り / 出来事

「はやぶさ」帰還・ヘビーローテーション・もしドラ・「ゲゲゲの」・食べるラー油・イクメン

この年になると、筆者も物心がついています。今からもう10年以上も前のことになってしまったとは……。また、この年に筑波大学では「ITF.(Imagine The Future.)」のスローガンが制定されたようです。

地図をみると、アンケートでも多くの思い出エピソードが寄せられた「百香亭」など、今の学生にも親しまれている飲食店が多く見受けられます。また、桜地区の開発も本格化し、多くのチェーン店が進出していったようです。

<2023 年>



イマドキの流行り / 出来事

ChatGPT・DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.・X社(旧Twitter)・ちいかわ

現在の大学周辺の飲食店マップです。筆者としては、この記事の作成にあたって初めて知った飲食店も多いです。時間とお財布の許す限り、いろいろなお店をまわってみたいと思いました。

いかがでしたか？少しでも懐かしさを感じていただけたら幸いです。なるべく多くの飲食店を記載できるように努めました。調査が及ばなかった部分もあるのが残念です。特に、アンケートにお寄せいただいた「灯禾軒」・「いわき」の両店舗は、いつから営業していたのか確認できませんでした。(「いわき」は無くなってしまいましたが、「灯禾軒」は2023年8月現在も営業中です)。住宅地図やインターネットの記事以外にも、何か資料があればよかったです……。またの機会に調べてみたいと思います。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

< 参考文献 >

株式会社ゼンリン(1987)『茨城県新治郡桜村』

株式会社ゼンリン(1984)『筑波町大穂町』

株式会社ゼンリン (1997) 『つくば市 (市街)』

株式会社ゼンリン (2010) 『茨城県つくば市 [中央部]』

つくばランチ食べ歩き (2014) ”RanRan(ランラン)@つくば”

<http://tsukubalunch.livedoor.biz/archives/65806984.html>(2023*08/05 閲覧)

福原直樹 (2013) 『筑波大学新聞で読む筑波大学の 40 年』筑波大学出版会

(人文・文化学群 人文学類 3 年 新田悠樹)



編集後記

今回は「思い出の食」をテーマに読者の皆様にエピソードを募集させていただきました。お答えいただいた方々には感謝申し上げます。飲食店の立地を時系列でまとめた記事では、いろいろなお店が私達筑波大生を支えてきたんだな～と実感できました。今は閉店してしまった店も少なくありませんが、あの「味」は一人ひとりの思い出に刻まれているはず。もう食べられなくても、つくばに来るたびに舌の奥の方でかすかに思い出すのかなあ。私が記事を書いた RanRan もきっとその一つになるのでしょうか。＼グ～／おっと、しみじみと食について考えていたらお腹が空いてきました。それでは今日はこの辺で。秋号もよろしく願いいたします。

(人文・文化学群 比較文化学類 4 年 山田優芽)



筑波大学 開学50周年記念クラウドファンディング

ただいま筑波

— I'm home tsukuba —

目標金額 **1億円** 2023年 **11月10日(金)23:00** まで

ただいま筑波プロジェクト～後輩たちへ差し入れを～

＼蹴球部OB三笥選手から「ただいまメッセージ」が届きました！／



ただいま筑波プロジェクトを通じて、
未来の筑波大生へ最高の“差し入れ”を届けましょう！

動画のフルVerはクラウドファンディングページにて公開しています。

今年2023年、筑波大学は創基151年 / 開学50周年を迎えます。これを記念して、クラウドファンディングによる卒業生との新しいつながりづくり「ただいま筑波プロジェクト」が始まります。

本プロジェクトは卒業生から次世代の学生に向けた“差し入れ”（ご寄付）によって、「思いの循環」を生み、大きな輪に育てる取り組みです。「ただいまのサイクル」を、次の50年に向けて築き上げたいと思っています。

皆さまからいただいた“差し入れ”は、次の50年に向けた学校環境の充実や改善に充てさせていただきます。誰もが自由に未来を描ける、可能性に満ち溢れた大学にするために、皆さんのお力が必要です。皆さまの“差し入れ”をお待ちしております。

私たちの目指す 「ただいまのサイクル」



ご支援について

WEBからのご支援 | プロジェクトの詳細は、下記QRコードからご覧いただけます。
そこからウェブ上で各種決済手段によるご寄付が可能です。

企業様からのご支援 | 企業様からのご寄付に関しては、特別なメニューをご用意しております。
個別のご要望にお応えすることもできますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：国立大学法人筑波大学 事業開発推進室
E-MAIL：50kikin@un.tsukuba.ac.jp
TEL：029-853-2178

ただいま筑波 レディーフォー



<https://x.gd/TTFn9>



豪華ゲストによる限定イベントを開催

申し込みはこちら



永田学長、落合教授、モデレーターとしてREADYFORの米良様が登壇。
ここでしか聴けないトークは必見です！

ただいま筑波 筑波大学 × READYFOR

プロジェクト立ち上げ 記念ライブ配信

2023.10.16 (月)19:00-20:00

永田 恭介 落合 陽一 米良 はるか

筑波大学YouTube
チャンネル

視聴を申し込む

特設ページも公開中

詳しくはこちら



学生からのリアルな声や、学群・団体別の支援者内訳データなど
クラウドファンディング関連のコンテンツをまとめてご覧いただけます。

Q. あなたがご支援金を筑波大のために
使えるとしたら、何をしますか？

- 課外活動に
関わる手続きを
電子化したいです
- 専攻別の研究員
補助があれば
活用したいです
- 環境のために
マイボトルを持ち歩い
ているので、
給水スポットが増えた
らうれしいです
- 学原に参加する団体に
応援を出して、
もっと学原を
盛り上げたいです
- トレーニング後の
栄養補給のために、
学原でタンパク質の
多いメニューを
追加したいです
- 授業に集中できな
いほど暑いので、
空調設備を
整えたいです

データで見る支援者

今週のランキング

学群・学域別	学群・サークル別	入学年度・その他
Coming soon	Coming soon	Coming soon
Coming soon	Coming soon	Coming soon
Coming soon	Coming soon	Coming soon

CONCEPT MOVIE

筑波大学 開学50周年記念クラウドファンディング

ただいま筑波

- I'm home tsukuba -

クラファン限定の特別なリターン

ご支援はこちら



筑波大学に帰ってきた気分になれる、多彩なリターンをご用意しております。
寄附金控除もごさいますので、ぜひ吟味してください。



運動部試合観戦

後輩たちの熱い
戦いを目の前で
応援できます。



共同溝探検ツアー

教職員ですらめっ
たに入れない筑波
を支える地下通路
を探検できます。



T-PIRC農場見学

筑波が誇る次世代
農業研究部門の施
設を見学できます。



バス停ベンチへ名入れ

筑波大といえばバス。
新設のバス停にお好
きな名前やメッセージ
を入れられるプレミ
アムなコースです。

法人様は個別ご対応することも可能です。お気軽に下記までお問い合わせ下さい。
国立大学法人筑波大学 事業開発推進室 (E-MAIL : 50kikin@un.tsukuba.ac.jp / TEL : 029-853-2178)

合言葉は「ただいま筑波」
このプロジェクトを通じて皆さまの「ただいま」の声が聞けることを
楽しみにお待ちしております。

卒業生・近隣にお住まいの方、ご興味のある方、ぜひお気軽にお越しください!!

創基 151 年 筑波大学開学 50 周年記念イベント

DESIGN THE FUTURE Marché

来場自由

入場無料

お問合せ

筑波大学総務部総務課

029-853-2052・8052

office_50th@un.tsukuba.ac.jp

2023 年 10 月 1 日(日)

筑波大学 大学会館講堂 etc

イベント情報

大学会館

1 第16回つくば3E フォーラム会議

■13:00～15:00 ■大学会館 ホール
主催：つくば3Eフォーラム

「2050年の生活と社会を考える」をテーマに、脱炭素社会の実現に向けた企業や大学の取り組みを紹介するとともに、実現すべき未来を皆さんと考えます。

2 Launching the Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN)

■15:30～17:00 ■大学会館 ホール
主催：国際局グローバル・コモンズ

50周年の節目にTUANを設立します。海外同窓生を招き留学時の思い出や後輩へのメッセージを伝えてもらうとともに、ライブ投票で代表選挙を行います。

3 筑波大学発 社会的起業家集合!

■13:00～15:00 ■大学会館 国際会議室
主催：人文社会系

スタートアップ、不耕起農業、和 문화伝承、樹木医などさまざまな社会的課題の解決に独自の方法で取り組み、社会に新しいネットワークを作り出そうとする、本学卒業生・在校生の全力の挑戦を紹介します!
<https://tsukuba-tanaka-seminar.peatix.com/>

4 Building Alumni Relationships: Connecting Former, Current, and Future Students in the JDS Program

■13:00～15:00 ■大学会館 特別会議室
主催：人文社会系

修了生及び現役のJDS学生が一堂に会し、JDSプログラムの成功の歴史とこれまでの貢献をともに振り返ります。

5 学生特別企画 International Day 2023

■12:00～15:30 ■大学会館 ホワイエ・総合交流会館
主催：全代会

日本人学生と留学生が共同して企画する本イベントは、ブース展示やパフォーマンスを通して世界中の様々な国や地域の文化を紹介します。

6 えがおカフェ

■11:00～14:00 ■大学会館 ホール前
主催：附属大塚特別支援学校

本校は知的障害がある幼児児童生徒が通う学校です。高等部生徒が焼き菓子などの作業製品を、心を込めて作っています。ぜひご覧ください。

第一エリア

7 デジタルデモクラシーと オープンデータ

■13:00～15:00 ■第一エリア 1D棟 204
主催：人文社会系

DXに伴う行政と市民のかかわり方に関する新しい動きを見据えつつ、国内外の専門家を招いて、デジタルデモクラシーの可能性について議論します。

第三エリア

8 IT技術はこれからの50年を どのように変えていくのか

～流行語@IT技術の変遷から未来を予測する～

■13:00～15:00
■ハイブリッド、第三エリア 3A棟 204、オンライン
主催：システム情報系

システム情報系のOB、学生、教員がリアル会場及び仮想会場に一堂に会し、IT技術の未来を予測する議論を行います。

第一サッカー場

9 筑波大学ホームゲーム TSUKUBA LIVE! -NEXT50-

■10:00～17:00 ■第一サッカー場
主催：関東大学サッカー連盟、体育スポーツ局、蹴球部
①小学生サッカーイベント ②記念試合
③関東大学サッカーリーグ戦 筑波大学 vs 国士館大学
満員必至!昨年度からスタートした好評の「TSUKUBA LIVE!」は、蹴球部の試合を開催!試合だけでなく、パフォーマンスや参加型のお楽しみ企画も開催。

中央図書館

10 筑波大学アーカイブズ特別展 「筑波大学とその前身校の歴史」

■10:00～17:00
■中央図書館新館 1階貴重書展示室
主催：筑波大学アーカイブズ

師範学校が創設された明治5年(1872)から今日に至るまで、筑波大学アーカイブズの所蔵資料を中心に、貴重な史料を数多く展示します。

キッチンカー

飲食用スペースもご用意しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。



キッチンカーが
第一エリア・
体芸エリアに
出店中!

イベント詳細はこちら

<https://50th.projects.tsukuba.ac.jp/ceremony/>

スマホの方は
コチラ▶



Twitter、Facebook で筑波大学の情報を発信しています

事業開発推進室では、大学や在学生の「今」を伝えるため卒業生に向けて Twitter、Facebook でも情報を発信しています。

学生の様子、学内の景色や、大学の取り組みなどはもちろん、在学生・卒業生が交流できるような企画を増やしていきます。

卒業生が楽しんでいただけるお知らせやその他イベントについても告知していきますので、ぜひフォローをお願いいたします。発信してほしい情報がありましたらお知らせください。

- 🌀 筑波大学大学基金 <https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>
- 🌀 筑波大学アプリ「TSUKUBA FUTURESHP」<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/futureship.app/>
- 🌀 日経 VR「オープンキャンパス360～筑波大学～」
https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/NIKKEI_VR/



The image displays a collage of digital content related to Tsukuba Futureship. It includes screenshots of the Facebook page for 'Tsukuba Futureship (筑波大学) Facebook' and the Twitter page for 'TSUKUBA FUTURESHP (筑波大学公式) Twitter'. The Facebook page features a '150' anniversary graphic and a QR code. The Twitter page shows a tweet about the university's 150th anniversary and another QR code. There are also smaller screenshots of various promotional materials and a QR code for a '100' anniversary event.

- 🌀 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- 🌀 デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室
- 🌀 ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1
TEL：029-853-2030 FAX：029-853-6576



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。 © 2023 University of Tsukuba.

「ペデジャーなる」のバックナンバーはこちらから
筑波大学メールマガジン『ペデジャーなる』(tsukuba.ac.jp)

配信先・ご住所などの変更は以下のフォームよりご登録をお願いいたします

登録フォーム <https://forms.office.com/r/0ndsbfM04q>